

運輸安全委員会 入札監視委員会 令和5年度 定例会議 審議概要

開催日及び場所	書面開催	
委員	委員長	渡辺 務 (弁護士)
	委員	牛嶋 仁 (中央大学法学部教授)
	委員	重田 麻紀子 (青山学院大学大学院 会計プロフェッション研究科教授)
審議対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日	
審議案件	3件	
一般競争入札	3件	1. 令和4年度運転業務人材派遣
		2. 事故調査用CTスキャン訓練の請負
		3. 事故調査用CTスキャン装置の導入環境整備作業
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

番号	質問	回答
	《1. 令和4年度運転業務人材派遣》	
1	1者応札となったことに関して考えられる理由は何か。	仕様書3.3-1(2)③のなお書きに記載の、「教育担当者については、警視總監又は道府県警察本部長から運転適性検査・指導者資格者又は上級運転適性検査・指導者資格者認定を受けた者であること。」の条件を満たす有資格者からの入札が1者のみであったことが考えられます。
2	関連する他の案件と組み合わせたの入札実施や複数年度での契約対応は可能か。	運転業務の人材派遣と通常の人材派遣では仕様書の要件が異なるため組み合わせでの調達は難しいと考えております。 また、本件は単年度での契約(4月1日から3月31日)ですが、年度を越えたり複数年度での契約(国庫債務負担行為)とすることについて、財政法上の要件を満たさないため、単年度で予算要求を行い調達しております。
3	過去5年の落札業者のうち、同一業者の数は。	令和3年度以前は国交省本省で契約しており、令和4年度が当委員会としては初めての契約となりますが、令和3年度以前の過去5年間は現在の請負業者とは別の業者と契約しておりました。
4	競争参加資格が認められなかった者は、仕様書3.3-1(2)③の後半にある「なお、……」に関して満たしていなかったということか。  競争参加資格の確認時に、仕様書3-1(資格等)(2)に関して提出すべき書類等は具体的に指示していたのか。  また、本資格要件の代替となる資格要件は考えられるか。	ご理解のとおりです。 仕様書3.3-1(2)③の「なお書き」に記載の条件を満たしていませんでした。  仕様書に記載の条件を満たしていることを証明できる書類の提出を求めるべく指示しておりましたが、今回、競争資格が認められなかった者につきましては、要件を具備する資格を有しておらず、提出いただくことができませんでした。  なお、本資格要件の代替となる他の資格については承知しておりません。本資格要件は、運転業務の質を確保する上で必要なため設けておりますが、本資格要件が参入阻害の要因となった可能性もあるため、次年度以降は資格要件についても再度検討したいと思います。
5	契約書における就業時間内の予定勤務数量は1,944時間とあるが、昨年度の実績(運行時間)は。	就業時間内労働は1,920時間、就業時間外労働は875時間30分となっております。
6	落札率が低いことについて考えられる理由は何か。	事前に2者から徴取した見積書を参考に安価な方を積算価格としましたが、入札を見据えた企業努力の結果、落札率が低くなったと思われます。
7	仕様書1-4の5行目が「令和3年度」となっているがこれは誤記か。	仕様書の作成時期が令和4年1月であり、令和4年3月に公用車の入替えを予定していたため、このような記載にしておりますが、年度としては「令和3年度中」となり、誤記ではございません。
	《2. 事故調査用CTスキャン訓練の請負》	
8	1者応札となったことに関して考えられる理由は何か。	仕様書で求めている教官の資格が非常に高い専門性を有するためと考えます。

番号	質問	回答
9	審議事案③と合わせて入札を実施することは可能か。	本件はCTスキャナ装置による非破壊検査の専門的な訓練、審議事案③は什器調達を含むレイアウト変更とケーブル布設の一般的な作業となります。 全く異なる分野の事案ですので、組み合わせて実施することは難しいと考えます。
10	CTスキャン装置の当初の納入予定日及び遅延理由についてご教示願いたい。	当初、納入期限を令和4年11月30日に設定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、CTスキャン装置の主要部材であるX線源や制御用PC、解析用PCの調達に大幅な遅れが生じた。また、この調達の遅れに伴い作業実施時期の延期となったこと、さらには、夏場の新型コロナウイルス感染急拡大でさらなる作業の遅れが生じ、作業日程を延期せざるを得ない状況となりました。
11	契約変更後の履行状況についてご教示願いたい。	10月25日から訓練を開始し、3月15日の筆記及び実技試験をもって訓練終了。3月28日に完了届を受領しました。
12	当該CTスキャン装置で、どの程度の規模(大きさ)の対象物までの「非破壊検査」が可能か。	直径350mm、高さH600mm程度まで撮影可能です。
	《3. 事故調査用CTスキャン装置の導入環境整備作業》	
13	1者応札となったことに関して考えられる理由は何か。	CT設置に関連した作業においては、ビル管理者とも複数の契約を締結しており、これらの綿密な調整が必要となることから年度末までに可能な限り工期を確保するため、公告期間を短くしております。このような事情から工程管理に対応できる業者が少なかったためと考えます。
14	入札公告日から入札書期限までが約3週間、入札説明書及び仕様書の配布期間が10日間という設定は、通例に比べていずれも短期間と思われる。また、本件の入札執行発議も遅れているようだが、これらに関してどのような理由があるのか。	CT設置に関連した作業においては、ビル管理者とも複数の契約を締結しており、これらの綿密な調整が必要となることから年度末までに可能な限り工期を確保するため、公告期間を短くしました。  また、この発議の前提となる作業区分(他契約で実施する区分、本契約で実施する区分)の調整に時間を要したため、発議が遅れました。
15	本整備作業の必要性如何。また、本装置は事故調査のどのような場面で使用し、どのような結果が得られるものか。	導入したCTスキャナは幅2.4m、奥行き1.4m、高さ2.0m、重量約6tの大きな装置です。 ビルの構造から設置できる場所には制限があり、また、狭隘な部屋を有効に活用するため、環境を整えるための当該作業は必須でした。  回収した事故品の内部構造の確認、クラック等の内部損傷確認やメモリチップからデータ抽出する際の事前作業としてメモリチップ内部損傷確認等に使用します。 メモリチップからデータを抽出する際、不用意な電源投入によるデータの消失を防ぐため、CTスキャナによる事前確認が重要な作業となります。
	《その他》	
16	入札全般について、電子入札に限定することは、入札者数を減じる可能性があるか。	当委員会の入札については、原則として電子入札としておりますが、紙入札を希望する者については別途「紙入札参加願」を提出することにより参加を認めております。 現状では紙での入札者もいることから、電子入札に限定することは入札者数を減じる可能性があると思われるかと考えます。